

令和 6 年 6 月 18 日現在

機関番号：34448

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2023

課題番号：18K10494

研究課題名（和文）JNCASTを基に開発した「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」の有用性検証

研究課題名（英文）Validation of the usefulness of "Program to promote mother-child interaction after infertility treatment" developed based on JNCAST

研究代表者

斉藤 雅子（SAITO, Masako）

森ノ宮医療大学・看護学部・教授

研究者番号：80511617

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、Japanese Nursing Child Assessment Satellite Training (JNCAST)を基に産後1ヵ月迄の不妊治療後の初産母子を対象に開発した「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」を研究機関のNCAST国際認定看護師がプログラムを実施し有用性を検証することであった。

2018年度プログラム評価をパイロット研究に参加した母親にインタビュー調査し、ポジティブな評価を得た。2019年度研究協力者がNCAST国際ライセンスを取得した。2020年度COVID-19で一時的に中断し、2023年度再開し2024年度にかけて実施している段階である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

不妊治療後に分娩した産後1ヵ月の初産婦の特徴は、子どもへ言葉や接触等が少なく、社会情緒的発達の促進が乏しい特徴であった。これらの特徴から母子関係の改善を目的に「不妊治療後版母子相互作用促進プログラム」を開発した。

パイロット研究の結果、母親は子どもの合図の読み取りによる育児の適応、子どもの認知・情緒的発達への積極的な関わり、母親役割の獲得、自己肯定感や子どものポジティブな感情変化がみられ、母子関係が良好になることが窺えた。産後1ヵ月の母子関係が明らかとなったこと、母親役割遂行の困難や産後うつ、乳児虐待のリスクを解決する糸口とかがえられる。

研究成果の概要（英文）： This study is based on Japanese Nursing Child Assessment Satellite Training (JNCAST) and "Program to promote mother-child interaction after infertility treatment" program, which was developed for first-time mothers and newborns after infertility treatment one month postpartum. This study aimed to implement the program and verify its usefulness.

Mothers who participated in the 2018 pilot study were interviewed to assess the program, which received positive evaluations. Research collaborators in 2019 obtained NCAST international certification license. However, the program was temporarily suspended due to the coronavirus disease-2019 pandemic in 2020. The program was implemented again in 2023 and will be continued through 2024.

研究分野：生涯発達看護学

キーワード：NCAST 産後1ヵ月 不妊治療後 初産婦 母子関係 母子相互作用 プログラム

1 . 研究開始当初の背景

国内で不妊治療後に分娩した産後 1 ヶ月の母子関係の研究は、母親の主観的体験による心理的特性や対児感情を明らかにした横断的調査が中心である。その心理的特徴は、妊娠継続が主な目的¹⁾となり、分娩後に育児の準備がないままの母親役割遂行に問題を抱え²⁾、産後うつや虐待のリスク可能性が高い³⁾⁴⁾と報告されている。これまで母親の心理的特性の報告がみられるも分娩後から産後 1 ヶ月の母子関係を客観的に評価し、関係改善にむけた看護師のケアに関する研究は明らかにされていない。

国外で母子関係の研究は、Barnard が新生児から幼児の親子相互作用や関係性を評価する Nursing Child Assessment Satellite Training(NCAST) を開発し最も活用されている介入プロジェクトがある。NCAST の日本語版⁵⁾ Japanese Nursing Child Assessment Satellite Training (JNCAST)は、2006 年広瀬他に開発されているが、分娩後から産後 1 ヶ月に焦点した研究は明らかにされていない。

2 . 研究の目的

2014 年度～2017 年度科研費・基盤研究(C)(課題番号:26463440)において、不妊治療後に分娩した母子を対象に、母子関係の特徴を JNCAST に基づいた分娩後から産後 1 ヶ月の「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」を開発しパイロット研究でプログラムの可能性が評価できた。本研究の目的は、パイロット研究で評価して改善したプログラムを研究協力機関の看護師が実施し、臨床実践での有用性を検証することであった。

3 . 研究の方法

(1) 2018 年度「パイロット研究で実施した『不妊治療後母子相互作用促進プログラム』の介入前後の母子相互作用の評価」

対象者はパイロット研究に参加した産後 1 ヶ月の初産母親 10 名で、介入前後の縦断的研究によって得られた JNCAST の母子相互作用得点を統計ソフトで多変量解析した。

(2) 2018 年度「パイロット研究に参加された母親を対象に、分娩後から産後 1 ヶ月の心理と対児感情、家族関係のインタビュー調査の実施とより良く改善されたプログラムにするための『不妊治療後母子相互作用促進プログラム』の修正」

対象者はパイロット研究に参加した産後 1 ヶ月の初産母親 9 名で、半構成的面接法でインタビュー調査をした。分析方法は、内容分析によるコーディングからカテゴリー化を行った。プログラム内容とプログラムの有用性のカテゴリーからプログラムと教材の修正をした。

(3) 2019 年度「臨床実践にむけて、研究協力分娩施設の看護師が JNCAST の使用に必要な JNCAST 国際認定看護師の取得育成」

対象は、3 施設の研究協力機関の研究協力者 10 名で、本調査に向けて NCAST 国際認定者の取得に向けた講習会および信頼性テストの開催を企画し、NCAST の日本支部である親子関係研究所に開催の依頼をした。

(4) 2020 年度～2023 年度「研究協力機関の NCAST 国際認定看護師が改善した『不妊治療後母子相互作用促進プログラム』によるプログラムの評価と有用性の検証」

対象は、正期産の初産母子 110 組(介入群:不妊治療後妊娠母子 55 組, 介入対照群:自然妊娠母子 55 組), 研究デザインは準実験的研究とした。介入は、退院前で、介入前(入院中)と介入後(産後 1 ヶ月健康診査)で母子相互作用を評価し、分析方法は、統計ソフトを用いて多変量

解析とした。

4. 研究成果

(1) 2018 年度「パイロット研究で実施した『不妊治療後母子相互作用促進プログラム』の介入前後の母子相互作用の評価」

介入した不妊治療後の母子は、介入前より介入後の産後 1 ヶ月の母子相互作用が高く有意差を認めたこと、非介入群の不妊治療後母親と比較して、介入群が高いことから、本プログラムの実施可能性が考えられた。したがって、本プログラムに参加した母親にインタビューを実施して、プログラムの評価および必要なケアへの示唆を得ることとした。

(2) 2018 年度「パイロット研究に参加された母親を対象に、インタビュー調査の実施により、より良く改善されたプログラムにするための『不妊治療後母子相互作用促進プログラム』の修正」

初産母親 9 名に半構成的面接法で、「期待するプログラム内容」と「プログラムの有用性」のインタビュー調査を実施した。データは、内容分析を行った。期待するプログラム内容は、5 カテゴリー〔プログラムの満足〕〔適切な介入時期〕〔効果的な教材〕〔効果的で適正なプログラム内容〕〔専門家からの育児支援の必要性〕で、プログラムの有用性は、7 カテゴリー〔児の合図読み取りによる育児への適応〕〔児の認知発達への積極的な関わり〕〔児の情緒的発達への積極的な関わり〕〔母子相互作用促進への継続的な関わり〕〔母親役割の獲得〕〔自己肯定感の高まり〕〔児へのポジティブ感情変化〕であった。母親は、育児支援専門家による適切な時期、効果的で適正な内容・教材を用いたプログラムを期待しており、プログラム参加後は、育児の行動変容による母親役割獲得や肯定的感情が示唆された。教材は、子どもの合図の絵を入れ、修正したプログラムを長期的に実施していくこととした。

(3) 2019 年度「臨床実践にむけて、研究協力分娩施設の看護師が JNCAST の使用に必要な JNCAST 国際認定看護師の取得育成」

本調査に向けて研究協力機関の研究協力者 10 名を対象に親子関係研究所を經由シワシントン大学バーナード研究所へ依頼をし、研究代表者の所属している大学で NCAST 講習会を開催した。全研究協力者は、研究レベルである NCAST 国際認定者を取得し、計画の遂行が可能となった。

(4) 2020 年度~2023 年度「研究協力機関の NCAST 国際認定看護師が改善した『不妊治療後母子相互作用促進プログラム』によるプログラムの評価と有用性の検証」

パイロット研究の評価を基に改善したプログラムの研究計画書を倫理審査委員会の承認を経て、研究協力機関の NCAST 国際認定看護師とともに実践し、有用性を検証することであった。倫理審査委員会は、研究代表者の所属大学および研究協力機関より承認を得ることができた。しかし、COVID-19 によって、研究協力機関の日常と異なる環境下で、パートナー等の面会制限があること、研究代表者の施設の入室制限およびケアの接触制限時間が設定され、研究を中断せざるを得ない状況となった。研究協力機関の研究環境を整えることが難しい状況が継続したため、2020 年度~2022 年度の研究中断を継続することとなった。2023 年度以降に研究を再開し実施している段階である。2024 年度も継続して調査を実施し、プログラムの有用性を検証している。

<文献>

1)我部山キヨ子・看護職が評価する不妊治療後の妊産褥婦とパートナーの心理特性，日本女性心身医学会，2010，15(1):111-119.

2)森恵美.不妊治療後の妊娠・出産の問題点と心理的ケア，母子保健情報，2012，66:71-75.

- 3) 大谷良子．体外受精により我が子を得た母親の子どもに対する感情，岩手看護学会誌，2009.3(2):3 - 14.
- 4) 穂積恵美子他．エジンバラ産後うつ病調査表高得点者の背景，2011，日本看護学会論文集，36:155 - 157.
- 5) 廣瀬たい子監修.日本語版 NCATS データ&ケースブック，乳幼児保健学会，2010.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 3件）

1. 発表者名 Masako Saito, Yoshiko Nagao, Yuko Takayama, Kazutomo Ohashi
2. 発表標題 A pilot study of a “program for promoting interactions between mothers who have undergone infertility treatment and their children” developed based on JNCAST
3. 学会等名 32th International Confederation of Midwives : ICM (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齋藤雅子, 長尾嘉子, 高山裕子
2. 発表標題 JNCASTを基に開発した「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」のパイロット研究 - 自然妊娠後母子との比較 -
3. 学会等名 第21回日本母性看護学会 学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤雅子, 長尾嘉子, 高山裕子, 林清子, 近藤勇美, 松本豊美, 鈴井江三子, 大橋一友
2. 発表標題 「不妊治療後母子相互作用プログラム」パイロット研究評価 - 参加した母親のインタビュー調査を通して -
3. 学会等名 第59回日本母性衛生学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masako Saito, Yoshiko Nagao, Yuko Takayama, Kiyoko Hayashi, Yumi Kondo, Kiyomi Matsumoto, Emiko Suzui, Kazutomo Ohashi
2. 発表標題 Assessment of “ Program based on the JNCAST to promote mother-child interactions following fertility treatment ” -A pilot study by mother's interview-
3. 学会等名 23th East Asian Forum of Nursing Scholars (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 齋藤雅子, 長尾嘉子, 高山裕子, 林清子, 近藤勇美, 松本豊美, 鈴井江三子, 大橋一友
2. 発表標題 分娩後から産後1ヵ月の「不妊治療後母子相互作用促進プログラム」のパイロット研究
3. 学会等名 第59回日本母性衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 齋藤雅子, 長尾嘉子, 高山裕子, 林清子, 近藤勇美, 松本豊美, 鈴井江三子, 大橋一友
2. 発表標題 Development of programs based on the JNCASST to promote mother-child interactions following fertility treatment - A pilot study -
3. 学会等名 22th East Asian Forum of Nursing Scholars (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高山 裕子 (TAKAYAMA Yuko) (00637803)	国際医療福祉大学・保健医療学部・教授 (32206)	
研究分担者	長尾 嘉子 (NAGANO Yoshiko) (10532963)	常葉大学・健康科学部・教授 (33801)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	入江 三佳 (IRIE Mika)	兵庫医科大学病院・看護部・助産師、副師長	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	打越 リカ (UCHIKOSHI Rika)	兵庫医科大学病院・看護部・助産師、主任	
研究協力者	玉越 綾 (TAMAKOSHI Aya)	兵庫医科大学病院・看護部・助産師	
研究協力者	島 あずさ (SHIMA Azusa)	兵庫医科大学病院・看護部・助産師	
研究協力者	堀内 香菜 (HORIUCHI Kana)	兵庫医科大学病院・看護部・看護師	
研究協力者	林 清子 (HAYASHI Kiyoko)	明和病院・看護部・助産師、病棟師長	
研究協力者	鞍田 真鈴 (KURATA Masuzu)	明和病院・看護部・助産師、主任	
研究協力者	森 瑛子 (MORI Eiko)	明和病院・看護部・助産師	
研究協力者	高木 里菜 (TAKAGI Rina)	神戸アドベンチスト病院・看護部・助産師	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	城戸 翔咲 (KIDO Tubasa)	神戸アドベンチスト病院・看護部・助産師	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Nursing Child Assessment Satellite Training (NCAST) Workshop	開催年 2019年～2020年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関